

交付運用報告書

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式



第1期末(2025年4月24日)

基準価額	9,058円
純資産総額	2,413百万円
第1期	
騰落率	△ 9.4%
分配金(税込み)合計	0円

・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
・純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。

【運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法】

右記URLにアクセス⇒「なかの世界成長ファンド」⇒「レポート・運用報告書」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

2024年4月25日～2025年4月24日

第1期 決算日 2025年4月24日

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、「なかの世界成長ファンド」第1期決算を行いました。

当ファンドは、主として国内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後も皆さまと一緒に長期投資の旅をすべく努めて参りますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

なかのアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋兜町 5-1

電話番号：03-3662-1401

受付時間：9:00-17:00(土日祝日、年末年始を除く)

ホームページ：https://nakano-am.co.jp/

ごあいさつ

長距離列車「なかの号」は、2024年4月25日に長期投資の旅へ出発してから1年が経過いたしました。新会社なかのアセットマネジメントは、この国が資産運用立国化を重要な国家戦略と位置付けたことにより、必然的に資産運用業の高度化が政府より課題提起されたタイミングでの創業となりました。従ってそこに必要不可欠となる、精鋭専門家集団による骨太アクティブ運用に特化した、クオリティ・グロースという運用理念を当社個々のスタイルと定め、その一貫性を尽くした本格的アクティブ長期投資ファンドをとことん標榜しております。

我が国の資産運用業界には既に長い歴史がありますが、これまでそうした忍耐強い長期選別アクティブ運用の歴史が乏しく、とりわけ投資信託においては、戦後から投機的な短期売買の道具として扱われた残念な実態が続いて来ました。資産運用立国の主役たる生活者の資産形成手段の要となるべき投資信託が、高度な長期運用を実践してこそ、高度な資産運用立国が成就するわけで、なかのアセットはそこへの社会的使命を存在目的と捉えていることからの、本格アクティブ長期投資へのこだわりなのです。

さて、そうした理想の高みを目指して出発した「なかの世界成長ファンド」は、今般運用開始から丸一年を経ての決算を迎えました。当ファンドは運用開始時より米国市場一強への偏重が、やがて平均回帰を伴うグローバルなマーケット調整に至ることを想定し、敢えて米国比率を参考指数のそれに対して大胆に小さく維持して来たため、2024年は総じて米国市場の更なる価格上昇に劣後を余儀なくされての1年目となりましたが、トランプ関税の影響以降は、顕著な米国株式下落を受けてから、相対的なパフォーマンスの回復局面に入ったと認識しています。そして2年目からの伸長に向け、ポートフォリオはクオリティ・グロース運用をより顕著にさせて準備を整えられたと、CIO（最高投資責任者）としての手応えを感じております。あくまでも長期に目覚ましい成果を目指す、とことん長期運用の助走期間としての1年目の経過としてご理解くださいませ。

これからも「なかの号」での長期投資の旅を末永くご一緒戴きますようお願い申し上げますと共に、「なかの号」乗務員一同で全力を尽くして参ることを改めてお約束いたします。

代表取締役社長 中野 晴啓

運用担当者の紹介

代表取締役社長/最高投資責任者

中野 晴啓

役割 最高責任者として投資戦略の意思決定

運用経験年数 32年

経歴

1987年明治大学商学部卒業。旧セゾングループの投資顧問会社にて債券ポートフォリオを中心に資産運用業に従事した後、2006年セゾン投信株式会社を設立。2023年6月に代表を退任後、同年9月なかのアセットマネジメント株式会社を設立。



運用副部長/シニアポートフォリオマネージャー

居林 通

役割 企業の調査および分析、投資戦略の策定、ポートフォリオ構築

運用経験年数 33年

経歴

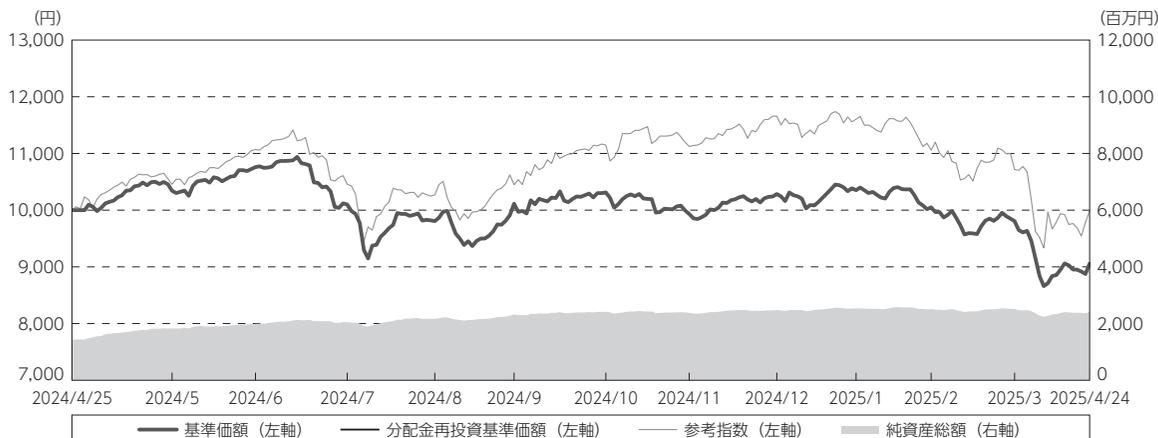
1992年日興投資信託（現 日興アセットマネジメント）入社。海外ファンドの運用を担当。2003年ベアリング投信投資顧問（現 ベアリングス・ジャパン株式会社）にてファンドマネージャーに就任。2006年から2023年までUBS ウェルスマネジメントにてリサーチヘッドとして従事。2023年12月より現職。なかの世界成長ファンドの責任者に就任。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年4月25日～2025年4月24日)



設定日：10,000円

期末：9,058円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 9.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

今期は、組み入れている全てのファンド(円建て)が下落し、さらに為替もドル円で設定来7.7%の円高となったことから、当ファンドの基準価額は年間で942円下落しました。これにより、2025年4月24日時点の基準価額は9,058円(設定来△9.4%)となっています。

(マザーファンドについての記載となります)

組入れファンドの中では、「コムジェスト世界株式ファンド」が当初、組み入れ比率が高く、市場の上昇によるプラスの影響とその後の市場の下落過程で組み入れ比率を下げたことで、基準価額にはプラスとなりました。一方、「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90」が2024年9～10月に大きく下落したことが影響し、当該ファンドは設定来△13.2%の下落となりました。これが当ファンドの基準価額全体の下押し要因となっています。

一方で、運用の分散と安定性を高めるため、2024年8月中旬より「アライアンス・バーンスタイン

SICAV グローバル・グロース・ポートフォリオ（Fクラス）を、2025年2月初旬より「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・リーダーズ・ファンド」を新たに組み入れました。これにより、より効率的な国際分散を図っています。

プラス要因	マイナス要因
コムジエスト世界株式ファンド（適格機関投資家限定）	コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90（適格機関投資家限定）
	アライアンス・バーンスタイン SICAV グローバル・グロース・ポートフォリオ（Fクラス）
	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド（適格機関投資家専用）
	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド（クラスS、円建て）
	スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・リーダーズ・ファンド（クラスIII・円建て）
	対ドルでの円高

1万口当たりの費用明細

(2024年4月25日～2025年4月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	61	0.605	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(35)	(0.343)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(23)	(0.229)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.016	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0.015)	信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	63	0.621	
期中の平均基準価額は、10,154円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

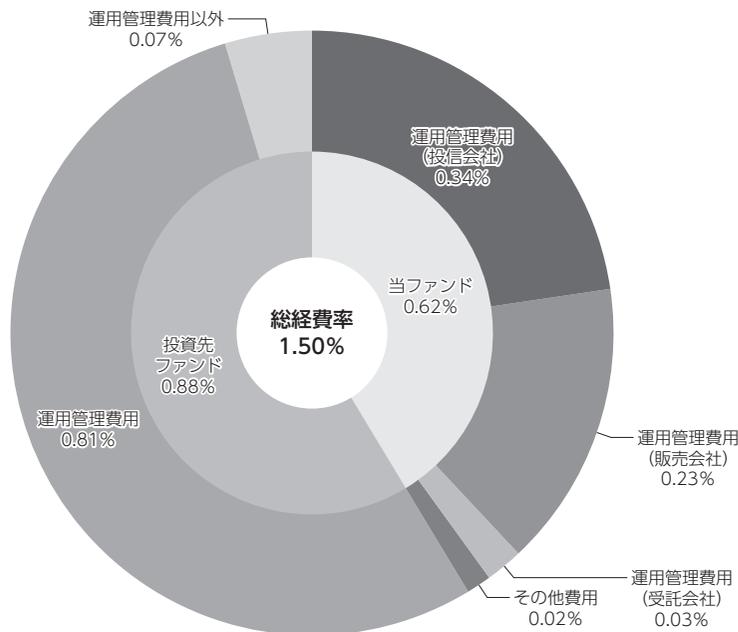
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.50
①当ファンドの費用の比率	0.62
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年4月24日～2025年4月24日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み・円換算ベース) は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2024年4月25日です。

	2024年4月25日 設定日	2025年4月24日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,058
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.4
参考指数騰落率 (%)	—	△ 0.1
純資産総額 (百万円)	1,440	2,413

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年4月24日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み・円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。
- 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2024年4月25日～2025年4月24日)

(マザーファンドについての記載となります)

【株式市場の概況】

今期前半(2024年11月頃まで)は、米国を中心に株式市場が堅調に推移しました。しかし、2025年に入りトランプ政権が発足すると、関税政策への懸念が広がり、米国株式市場は大きく下落しました。特に、輸出規制強化の観測を背景に、先端半導体関連株が下落。米国企業に加え、オランダのASMLや台湾のTSMCといった主要半導体メーカーの株価も影響を受けました。

一方で欧州市場は、欧州中央銀行(ECB)による追加利下げや、2025年に入ってからドイツの積極的な財政政策を背景に、期後半には堅調な動きを見せました。

【為替市場の概況】

円は対ドル・対ユーロともに上昇(円高)しました。設定当初は円安が進み、対ドルで一時160円を超える水準となりましたが、2024年後半には日銀が利上げを実施。さらに、2025年に入ってトランプ政権が米連邦準備制度理事会(FRB)に利下げを求める姿勢を見せたことから、日米の金利差縮小が意識され、円は一時140円台まで上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年4月25日～2025年4月24日)

(マザーファンドについての記載となります)

当ファンドは、「世界の優良成長株(クオリティ・グロース銘柄)への長期厳選投資」を基本方針とし、世界中から成長が見込まれる企業を厳選して投資しています。この方針に基づき、当ファンドはファンド・オブ・ファンズ(FoF)形式を採用し、企業のファンダメンタルズ(事業内容、業績、ガバナンスなど)を重視して選定されたファンドを組入れて運用しています。このFoF形式の強みは、世界の各地に存在する将来性のある企業を早期に発掘し、長期保有によってリターンを最大化を狙える点にあります。この運用方式は、世界中の成長企業への長期投資という当ファンドの方針に適したスタイルです。

今期は運用開始期にあたることから、まず「コムジエスト世界株式ファンド」「コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90」「アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド」を初期組入れファンドとして選定。その後、「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド」「アライアンス・バーンスタイン SICAV グローバル・グロース・ポートフォリオ(Fクラス)」「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケッツ・リーダーズ・ファンド」などを順次組み入れ、分散と成長性の強化を図りました。

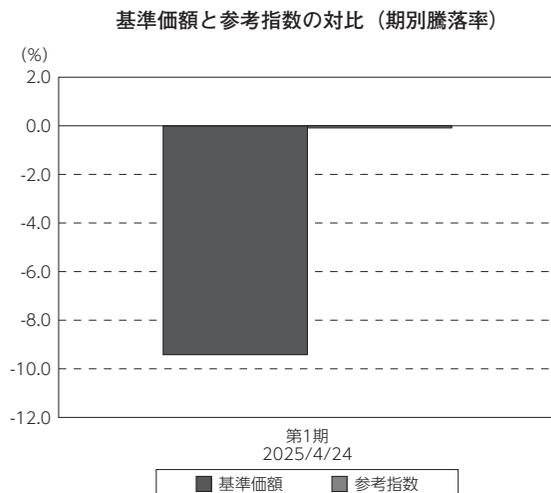
国別の組入れでは、期の前半において米国のハイテク株がやや割高と判断し、米国の比率を約25%に抑えて運用しました。その後、米国ハイテク株の下落を受けて段階的に比率を引き上げ、期末時点では米国の比率は約30%となっています。欧州各国、中国、インドなどの新興国がこれに次ぐ構成となっています。

また、2025年に入りトランプ政権の誕生を背景に、インドが新たな国際貿易体制の恩恵を受けると考え、インドの組入れ比率もやや引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年4月25日～2025年4月24日)

当ファンドでは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右のグラフは、当ファンドと参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み・円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2024年4月25日～2025年4月24日)

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2024年4月25日～ 2025年4月24日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(マザーファンドについての記載となります)

当ファンドは今後も、長期的な資産の成長を目指し、一貫して優れたビジネスモデルと成長戦略を兼ね備えた企業に投資するファンドを組み入れる方針を継続します。

この方針に基づき、私たちは以下の2点を特に重視しています。

1. 投資先ファンドの継続的なモニタリングと対話

当ファンドはファンド・オブ・ファンズ (FoF) 形式を採用しており、投資先ファンドの動向を常に確認し、運用チームと定期的に意見交換を行っています。トランプ政権による関税政策のように市場が不安定になる局面があっても、長期的な視点を失わず、冷静に対応できる体制を整えています。

2. 組入れ銘柄の自社調査の強化

投資先ファンドが組み入れている個別銘柄を当社の運用チームでも調査を行っています。これにより、保有銘柄への理解を深めるとともに、投資先ファンドの運用チームとの建設的な対話を可能にし、当社としての主体的な投資判断にもつなげています。

今後の具体的な取り組みとして、第2期 (2025年4月25日以降) からは、グローバルファンドを「米国」「欧州」「新興国」の3カテゴリーに分け、それぞれの地域に特化したファンドを組み合わせる運用スタイルへの移行を検討しています。現在、その実現に向けて、多くのファンド運用会社とミーティングを重ね、当社の投資哲学と一致する運用チームを選定中です。

私たちは今後も、世界中の株式市場から真にクオリティの高い成長企業を見出し、今後も、たゆまずに受益者の皆さまのご期待に応える運用を目指してまいります。

市場の短期的な動きに左右されることなく、一貫した投資方針を堅持することこそが、皆さまの資産の長期的成長に貢献する道であると考えております。今後もこの基本方針に沿って運用を継続してまいります。

お知らせ

2024年4月25日から2025年4月24日までの期間に実施した約款変更は以下の通りです。

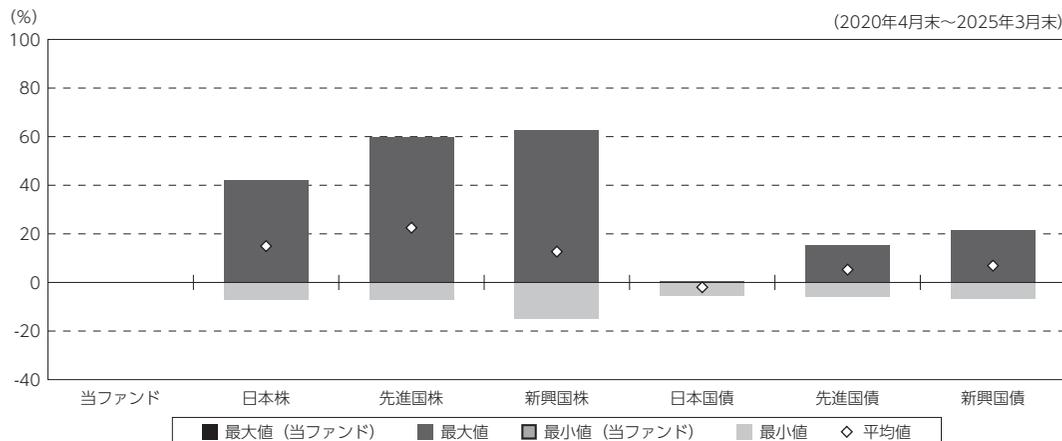
- ・なかの世界成長マザーファンドの投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。<変更適用日：2025年1月24日>

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	国内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。	
主な投資対象	なかの世界成長ファンド	なかの世界成長マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	国内外の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業（クオリティ・グロース企業）の株式に投資を行います。多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時に、基準価額、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	-	△ 7.1	△ 7.4	△ 15.2	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	-	14.9	22.5	12.7	△ 2.0	5.3	6.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年4月から2025年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年4月24日現在)

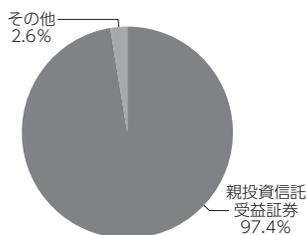
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
なかの世界成長マザーファンド	97.4%
組入銘柄数	1銘柄

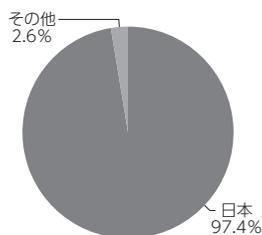
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

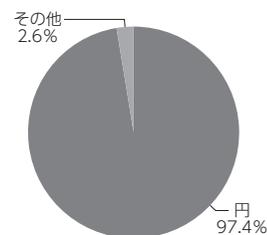
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

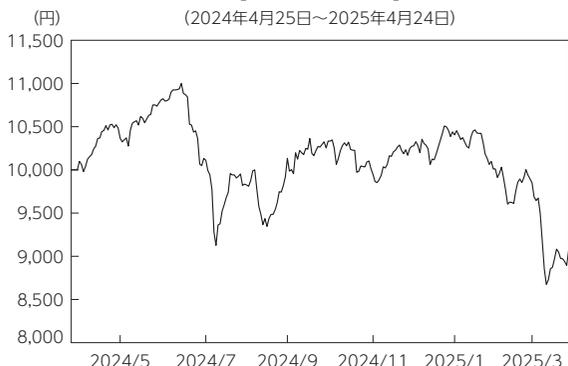
項目	第1期末
	2025年4月24日
純資産総額	2,413,444,243円
受益権総口数	2,664,370,253口
1万口当たり基準価額	9,058円

(注) 期中における追加設定元本額は1,598,936,760円、同解約元本額は374,949,486円です。

組入上位ファンドの概要

なかの世界成長マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年4月25日～2025年4月24日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	2	0.017
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)
(そ の 他)	(2)	(0.016)
合 計	2	0.017

期中の平均基準価額は、10,183円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

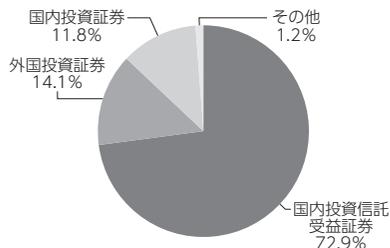
(2025年4月24日現在)

銘 柄 名	第1期末
	%
コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)	26.9
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド	20.8
コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)	19.7
その他	31.3
組入銘柄数	6銘柄

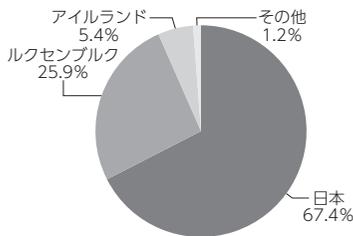
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

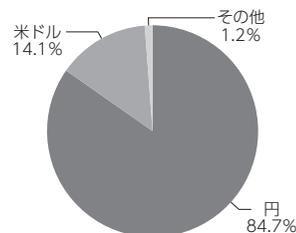
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

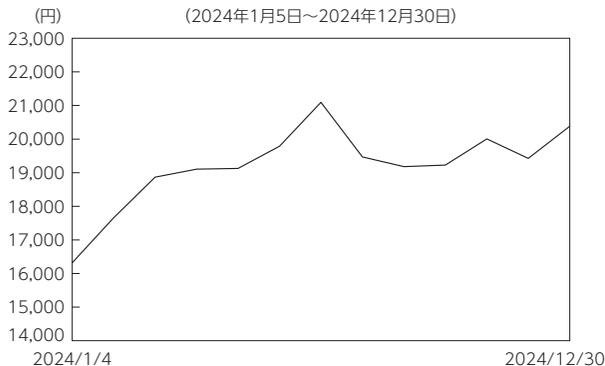
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> コムジェスト世界株式ファンド（適格機関投資家限定）

【基準価額の推移】

(2024年1月5日～2024年12月30日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月5日～2024年12月30日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	185	0.955
(投 信 会 社)	(120)	(0.618)
(販 売 会 社)	(59)	(0.304)
(受 託 会 社)	(6)	(0.033)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.031
(株 式)	(6)	(0.031)
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.033
(株 式)	(6)	(0.033)
(d) そ の 他 費 用	14	0.071
(保 管 費 用)	(10)	(0.051)
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)
(そ の 他)	(2)	(0.013)
合 計	211	1.090

期中の平均基準価額は、19,358円です。

(注) 各期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

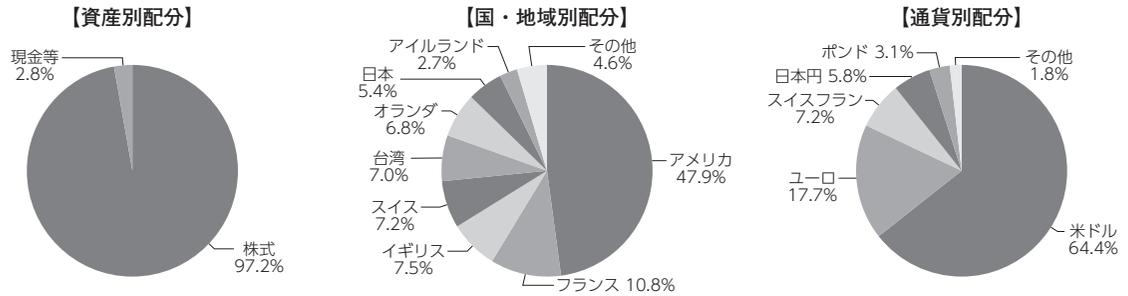
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

以下は「コムジェスト世界株式マザーファンド」の内容です。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月30日現在)

銘 柄 名	投 資 比 率
1 MICROSOFT CORP	7.7%
2 TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	7.0
3 ELI LILLY & CO	5.4
4 ASML HOLDING NV	5.3
5 VISA INC-CLASS A SHARES	4.7
6 ESSILORLUXOTTICA	4.6
7 LINDE PLC	4.3
8 S&P GLOBAL INC	4.0
9 JOHNSON & JOHNSON	3.9
10 INTUIT INC	3.7
組入銘柄数	32銘柄



(注) 比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

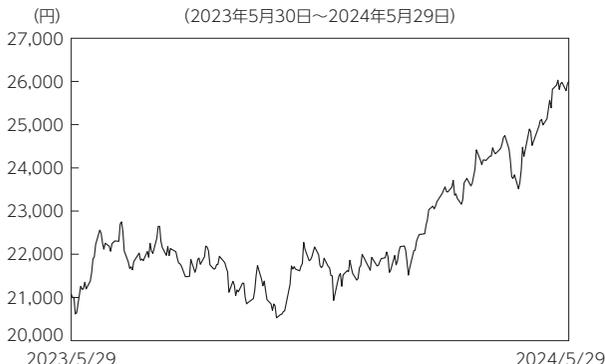
(注) 国・地域別配分は、コムジエスト・エス・エー社の判断に基づいて分類しております。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータはベビーファンドの決算日時点の内容です。

＜ご参考＞ アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド

【基準価額の推移】

(2023年5月30日～2024年5月29日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月30日～2024年5月29日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	221 (196) (5) (20)	0.990 (0.880) (0.022) (0.088)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (オ プ シ ョ ン 証 券 な ど)	18 (18) (0)	0.082 (0.081) (0.001)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	22 (22)	0.099 (0.099)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	24 (11) (1) (12)	0.108 (0.048) (0.004) (0.055)
合 計	285	1.279

期中の平均基準価額は、22,285円です。

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

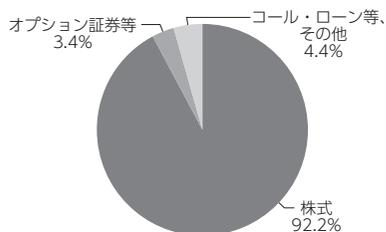
以下は「ABエマージング・グロース株式マザーファンド」の内容です。

【組入上位10銘柄】

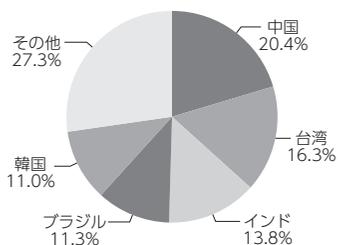
(2023年12月20日現在)

銘 柄 名		投 資 比 率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	8.6%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	5.5
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	5.1
4	HDFC BANK LIMITED	5.1
5	BROADCOM INC	3.5
6	MEDIA TEK INC	3.3
7	PDD HOLDINGS INC - ADR	3.1
8	EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	3.1
9	AIA GROUP LTD	3.0
10	SK HYNIX INC	2.7
組入銘柄数		49銘柄

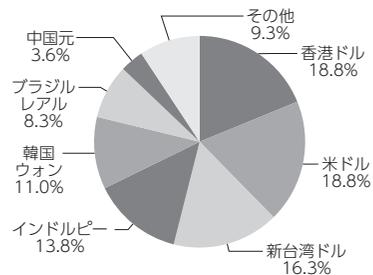
【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

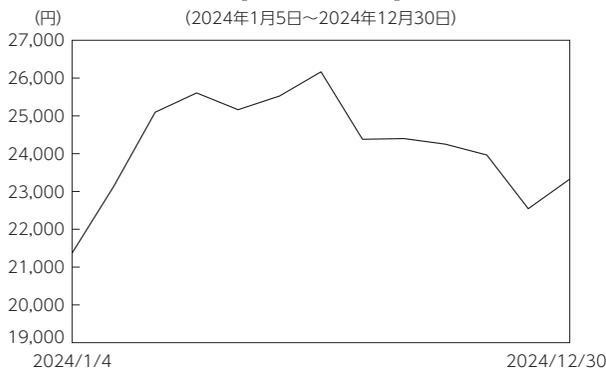
(注) 国・地域別配分は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー社などの判断に基づいて分類しております。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータはマザーファンドの決算日時点の内容です。

＜ご参考＞ コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)

【基準価額の推移】

(2024年1月5日～2024年12月30日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月5日～2024年12月30日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	240 (152) (75) (13)	0.976 (0.618) (0.304) (0.054)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.014 (0.014)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	13 (13)	0.053 (0.053)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	13 (8) (4) (0)	0.051 (0.034) (0.016) (0.001)
合 計	269	1.094

期中の平均基準価額は、24,565円です。

(注) 各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

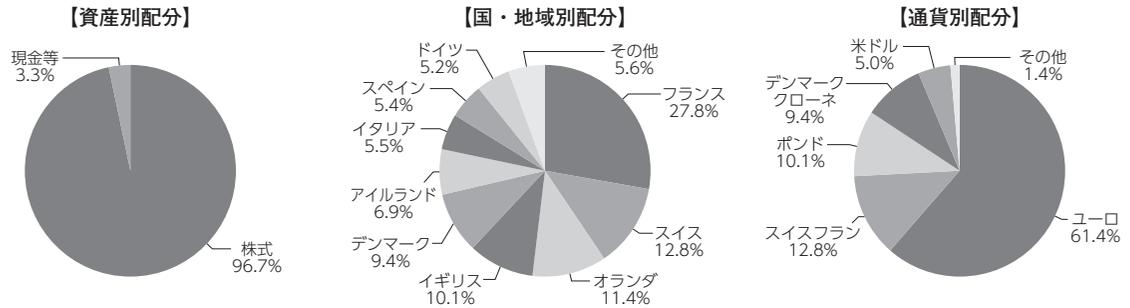
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

以下は「コムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド」の内容です。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月30日現在)

	銘 柄 名	投 資 比 率
1	ASML HOLDING NV	7.0%
2	NOVO NORDISK A/S-B	6.0
3	ESSILORLUXOTTICA	5.3
4	SCHNEIDER ELECTRIC SE	4.9
5	ALCON INC	4.1
6	AIR LIQUIDE	4.0
7	RELX PLC	3.6
8	DASSAULT SYSTEMES SE	3.3
9	EXPERIAN PLC	3.2
10	STRAUMANN HOLDING AG-REG	2.9
	組入銘柄数	40銘柄



(注) 比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

(注) 国・地域別配分は、コムジエスト・エス・エー社の判断に基づいて分類しております。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータはベビーファンドの決算日時点の内容です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークとして算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。